

Artists in FAS

制作・展示支援 プログラム 2022

2023

1.14 [土] - 3.19 [日]

高原悠子《純粹》2021年



宮田恵理子《disguise 2021- ongoing》2021年

高原 悠子

TAKAHARA Yuko

宮田 恵理子

MIYATA Eriko

入選アーティストによる

成果発表展



平井亨季《もつれる舌と足、山と島》2022年

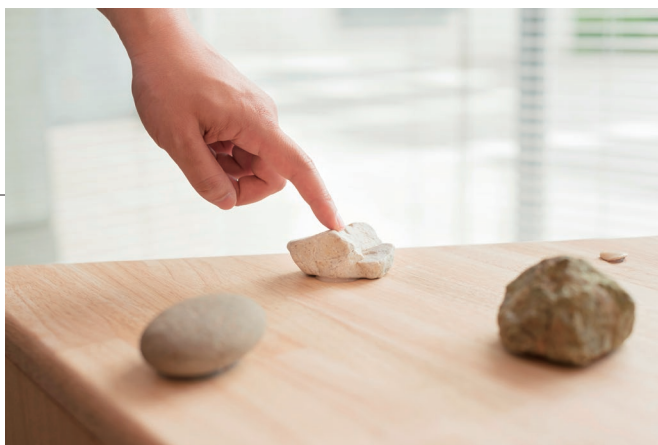
平井 亨季

HIRAI Koki

MATHRAX

久世祥三+坂本茉里子

KUZE Shozo+SAKAMOTO Mariko



MATHRAX《ふしなま》2016年

Photo by Kenji Kagawa

藤 沢 市 アー ト ス ペ ース
Fujisawa City Art Space

10:00-19:00

※入場は 18:45 まで

月曜休館

入場無料

会 場 藤沢市アールスペース・ココテラス湘南ビル内共用スペース

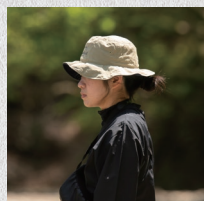
主 催 藤沢市／藤沢市教育委員会

後 援 神奈川新聞社／株式会社ジェイコム湘南・神奈川
レディオ湘南

特別協力 一般財団法人藤沢市開発経営公社(ココテラス湘南)

協 力 公益財団法人藤沢市みらい創造財団

「Artists in FAS」は、藤沢市アーツスペース（以下、FAS）が多様な創作活動に携わるアーティストたちに、制作の場と発表の機会を提供するアーティスト・イン・レジデンスプログラムです。7回目となる今回は、国内外から75件の応募があり、外部審査員（三田村光土里氏〔美術作家〕、天野太郎氏〔東京オペラシティアートギャラリーチーフ・キュレーター〕）によって絵画・立体、映像、写真、メディアアートなどを手がける3名と1組が選出されました。入選アーティストたちは、展覧会に先立つ10月からの約3ヶ月、作品制作のために近隣をリサーチし、FASのレジデンスルームで滞在制作を行いました。その成果を本展にて発表します。湘南の人々や風土に触れた経験が結実した作品に、どうぞご期待ください。



たかはら ゆうこ
高原 悠子

TAKAHARA Yuko

熊本県生まれ。2012年東京藝術大学美術学部絵画科油画卒業。2013–2014年オーストラリアグリフィス大学 QCA（交換留学）。2016年東京藝術大学大学院絵画専攻油画研究分野修了。2019年WARIA Artbreak AiR Programme 2019（フィンランド）。主な展示に、2022年個展「純粹（小）」（ギャラリー七面坂途中／東京）、2021年「中・之条ビエンナーレ 2021」（群馬）、2019年「Valo-Hikari」（Valoギャラリー／フィンランド）など。

すべての時間や言葉から解放された幼少期の原初的な感覚を再現すべく、水や樹木などの自然物をモチーフとして平面や立体を制作している。本展では初めて大きな板を素材に使い、切り抜いたり着彩したりした作品を展開する。



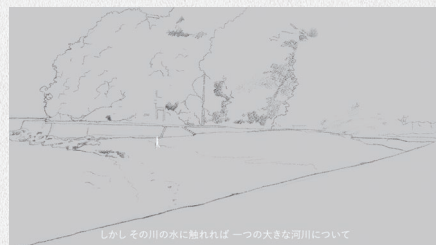
《VALO-TAKI, VALO-KI》2019年



ひらい こうき
平井 亨季

HIRAI Koki

広島県生まれ。2019年東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。2021年東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了。主な展示に、2022年吉田真也との2人展「歩行の筆跡（ディスクール）」（タメンタイギャラリー 鶴見町ラボ／広島）、2018年「1940's フジタトリビュート」（東京藝術大学大学美術館陳列館）など。いつも制作は歩くことから始めている。歩くことで風景の成り立ちやその土地に潜む歴史を足で捲り、その中で見つけた言葉や物を集めていく。そしてそれらを本や模型、アニメーションなどを通して変奏し、作品として再構成している。



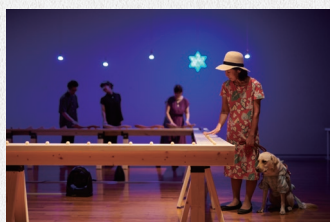
《もつれる舌と足、山と島》2022年



マスラックス
MATHRAX

久世祥三＋坂本菜里子
KUZE Shozo＋SAKAMOTO Mariko

福岡県生まれの久世祥三と神奈川県生まれの坂本菜里子によるアートユニット。主な展示に、2022年とよなかアーツプロジェクト メディアアート企画 展覧会「光さす間に」（豊中市立文化芸術センター／大阪）、2020年「ふれて すすむ まえへ ―音と光と香りとともに―」（茅ヶ崎市美術館／神奈川）など。2021年アジアデジタルアート大賞展FUKUOKAインタラクティブアート部門入賞〔ステラノーヴァ〕。“人の感覚とデジタル技術と社会”をテーマに、木や石などの自然物とコンピュータを組み合わせたインスタレーションやオブジェを制作する。光や音や香りを用いたインタラクティブな表現で、体験者に新たな世界を想起させる。



《うっしおみ》2019年 Photo by Kenji Kagawa



みやた えりこ
宮田 恵理子

MIYATA Eriko

千葉県生まれ。2017年東京藝術大学美術学部先端芸術表現科卒業。2020年 Zurich University of the Arts (M.F.A) 修了。主な展示に、2022年「SCREEN」Rubi International Photography Festival 2022（ルビー・スペイン）、個展「disguise」（Nikon Salon／東京）、「OFF GRID 2022」（ウィーン・オーストリア）など。2022年「PITCH GRANT」グランプリ受賞、IMA next「OTHER HISTORIES」グランプリ受賞。第46回江副記念リクルート財団奨学生。人間の作り上げた目に見えない哲学的な概念や事象及び歴史をリサーチし、目に見える人工物からそれらを理解しようとする試みを写真と映像を通じて行っている。



《Aside 2020》2020年

関連イベント 入選アーティストと審査員による トークセッション

2023年1月21日（土）14:00–16:00

参加無料、要事前申込

会場：藤沢市アーツスペース、
ココテラス湘南ビル内共用スペース

その他、ワークショップ等のイベントを予定しています。詳細や申込方法は藤沢市アーツスペースのウェブサイト、SNSをご確認ください。

交通案内

〔電車〕 JR「辻堂」駅 東口改札北口出口から徒歩5分
〔バス〕 神奈川中央交通「神台公園前」下車すぐ
FASに専用駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

〒251-0041

神奈川県藤沢市辻堂神台 2-2-2 Cocco Terrace 湘南 6階

TEL 0466-30-1816 E-mail fj-art@city.fujisawa.lg.jp

HP <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bunka/FAS>



藤沢市アーツスペース
Fujisawa City Art Space

